

子ども議会だより

令和6年
2月2日

第5回

子ども議会開催



次世代を担う若い声を町政に！



目次

- 子ども議会開催 P 2
- なっ党 / こんぺい党 P 3
- トメイ党 / かりん党 P 4
- 野 党 / 琥珀党 P 5
- サーモン党 / 再質問をピックアップ P 6

令和5年度子ども議会開催



1. 質問作成のための事前勉強会

日時：令和5年12月12日（火曜日）13：55～14：40

今年度の子ども議員は、横浜小学校6年生の28名です。横浜小学校で事前勉強会を開催しました。教育委員会指導の下、子ども議会に向けて質問を作成しました。役場の担当課に自ら質問をしにいくなど、質問作りに積極的に取り組む姿が見られました。



高齢化や人口減少が課題だと思いますが、若者の定住を増やすための取り組みにはどのようなものがありますか。



菜の花プラザの利用客数を増やしていくために取り組んでいることなどはありますか。

2. 子ども議会リハーサル

日時：令和6年1月30日（火曜日）13：30～14：30

リハーサルでは、議場で質問する練習をしました。議会事務局長から、入退場は一礼することをはじめ、議長の議事進行に従って説明をする手順を学びました。初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも本番に向けて練習を重ねました。

3. 子ども議会 本会議

日時：令和6年2月2日（金曜日）9：20～11：20

当日は、7つのグループに分かれて質問し、子ども議員は、質問をよりわかりやすく解説するためにパネルを作成したり、町長や教育長からの答弁に対し、再質問をするなど、本会議さながらの緊張感のある子ども議会となりました。



今回の子ども議会で議長、副議長を務めた高橋千尋さん、杉山洸哉くん



今年もタブレットを活用した子ども議会の実施となりました



ショッピングモールを作ること を提案します

なっ党

西濱 悠聖 鳥山 瑛登
濱谷 勘太 菊地 虹帆

Q. 横浜町には商店が少なく、町外に買い物に行く人が多いため、ガソリン代や移動時間がかかったり、車を持っていない人が買い物に困ったり、不便さを感じている人が多いと思います。今年、横浜中学校近くにできたプチマートがオープンするそうですが、ドラッグストアや100円ショップなどもあれば、もっと快適に買い物ができると思います。そこで、ショッピングモールをつくることを提案します。

A. ショッピングモールをつくるためには、食料品店以外の商店も必要となります。1年を通して買い物に来てくれる人がいて、利益が見込めるようであれば商店は新たに出店を考えませんし、町にも今のところ出店したいとの相談もありません。

ショッピングモールをつくることは難しいですが、令和7年度までに下北半島縦貫道路の横浜インターチェンジが開通されることを最大限に活用し、道の駅菜の花プラザを飲食や買い物の拠点として、町の特産物をPRしながら、観光や人の交流を増やし、町の賑わいを創り出していく計画であります。

三保野公園にキャンプ場をつくる ことを提案します

こんぺい党

濱辺 希幸 古澤 虹
川崎 椿月 坂下 空桜



Q. 三保野公園には広い面積の広場ときれいな川がありますが、実際そこまでたくさんの人が集まって活動しているとは言えないように感じます。そこで、三保野公園にキャンプ場を作ること提案します。キャンプ場があればたくさんの人が集まることが期待できるので、今よりも横浜町がにぎわっていくと考えます。

A. 現在の公園のスペースにキャンプ場を設備しますと、グランドゴルフができなくなったり、子どもたちが遊べるスペースがなくなったりと様々な影響がでることが考えられるため、大変難しいと思っております。

しかし、皆さんのキャンプ場を整備して多くの人に横浜町へ来てもらうというアイデアは大変すばらしいと思っております。三保野公園内は難しいかもしれませんが、それ以外の場所のキャンプ場整備について、今後検討していきたいと考えております。

横浜町の税金の使われ方について質問します



トメイ党

川嶋 幸羽 谷 颯祐
坂下 明日香 泊 咲希

Q. 横浜町で集められた税金は、どんな願いがあり、それをどのように町民から聞き出し、税金を使っているか伺います。

また、もし税金を納めなかったり、納め忘れしたりした人がいた場合は、どのように集めるのかについてもお聞かせください。

A. 町では、町民や中学生へのアンケート調査を行い、広く町民から意見を求めています。それをもとに、教育・福祉・環境・観光・防災など各分野で国の施策や町民・関係団体の意見や要望、災害などの急を要するものなどを調査、整理して1年ごとに計画を立て、予算を調製し、町の議会に諮ったのちに、町は機能し、その中で税金は使われています。

税金の支払いを忘れている人には、支払う期限が過ぎているお知らせを送付したり、戸別に訪問を行っています。会社の倒産や災害などにより税金を納めるのが困難な場合などには、納税の相談も行っています。



介護従事者への補助を提案します

かりん党

森川 凌芽 中山 拳斗
杉山 琉晟 松橋 桐弥

Q. 横浜町では、人口が減少しているのにも関わらず、高齢者に限った人口は増えています。そこから介護が必要になる人は今後ますます増えていくと思われませんが、それに反して、働くことのできる人たちの人口は減少しているため、介護従事者不足が問題になると考えています。少しでも多くの方が介護職に就きたいと思えるためには、金銭面での援助が必要だと考えます。

A. 介護従事者不足の原因は、働いている人が高齢となり、やめる人が多くなってきていることや、仕事が大変であるが、もらえる給料の金額が少ないなどが考えられます。国では、給料の金額の基準を上げ、各施設へ金銭での補助をしています。

横浜町はこれからも、人口減少が予想され、若い人たちが減り、65歳以上の高齢者がますます増えていきます。今後も一人でも多くの介護従事者が増えるよう、皆さんからのたくさんの提案をお願いします。

横浜町に高等学校をつくることを提案します

野 党

斗米 武蔵 小原 帆貴
二木 瑠斗



Q. 2007年に野辺地高等学校横浜分校が廃校してから、横浜町には高等学校が1つありません。そのため、進学したい場合は他市町村まで通学するか、横浜町を離れなければなりません。しかし、通学になると朝早く家を出て、帰りは遅くなってしまいます。そうすると部活動に制限がかかったり、家庭学習の時間が減ったりしてしまうことが考えられます。高等学校ができることで通学の心配がなくなり、横浜町の魅力を感じ、定住につながると考えます。

A. 令和6年3月中学校卒業予定者の進路志望調査では、横浜町の近隣市町村の高校ではほぼ定員割れの状況です。
このような状況の中で、仮に横浜町に高等学校を作った場合には、横浜町内の生徒は通学の心配はなくなりますが、他市町村の生徒が横浜町の高校を希望する可能性は低く、生徒数の確保が難しいことが予想されますので、この先高等学校の設立は現実的に厳しいと思われますが、今回の皆さんの提案は、横浜町にないものを作ってみようという素晴らしい発想であり、貴重な意見と感じています。



横浜町の空き家の現状と対策について質問します

琥珀党

長郷 結菜 森川 由衣奈
保坂 美穂 石岡 夢輝心

Q. 全国的に空き家が増え続け、横浜町でも同じように空き家が多く見られます。もし、空き家が動物の住み家になったらどうするのか、倒壊しそうな空き家があったらどうするのか伺います。また、以前空き家バンクという取り組みを行っていると伺いましたが、それ以外にも対策がありましたらお聞かせください。

A. まず横浜町の空き家の現状は、町の調査により空き家軒数は280軒となっています。そのうち、壊れる恐れなど周りに悪い影響を及ぼしている空き家12軒を特定空き家として認定しています。特定空き家は、その所有者や親族に対して適正な管理をしていただくよう手帳や電話で指導し、その結果一部解体を含め5軒が解体されています。
また、空き家バンクは、令和7年度の運用開始に向けて現在準備を進めています。

景観を良くするために菜の花の作付面積を増やすことを提案します

サーモン党

外井 洸太郎 菊池 航生
川崎 空真



Q. 下北道が完成すると、観光客がより増えることが予想されます。しかし、菜の花フェスティバル会場までの道の景観は少しさびしいように思います。そこで、観光客を増やすためにも、もっと広い範囲に菜の花を植えることを提案します。また、田舎館村で行われている「田んぼアート」を参考にし、菜の花を使ってアートを作れば、さらに観光客を増やすことができると思います。

A. 現在の横浜町の取り組みとしては、菜の花フェスティバル会場やその周辺につきましても、農家の皆さんへ作付のご協力をお願いし、菜の花作付け助成をしております。主にじゃがいもやながいもの裏作として菜の花を作付している人がほとんどで作付場所も毎年変わります。すぐに作付面積を増やすことは難しい状況であることをご理解ください。
菜の花を使ったアートについては、開催年によっては、趣向を凝らしたデザインで迷路を作っています。迷路内には高台を設置いたしますが、せっかく手の込んだデザインにしてもわかりづらいのが実情であります。

～各班の再質問をピックアップ～

ドラッグストアや100円ショップなどを作ってくださいれば僕も行くと思うので、ぜひご検討よろしくをお願いします。

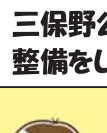


西濱悠聖くん



谷 颯祐くん

税金の集め方や、税金の使い道がわかったのでこれからも税金のことについて考えていきたいです。



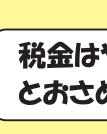
古澤 虹くん

三保野公園にはキャンプ場が作れないということがわかりました。なので、他のキャンプ場の整備をし、横浜町を活気づけてもらいたいです。



杉山琉晟くん

介護従事者への支援をすることで介護職に就く人が増えると思うので、これからも支援を続けてほしいと思いました。



泊 咲希さん

税金はやはり大切で、これからも必要不可欠だということがわかりました。これからもちゃんとおさめていきたいと思います。



長郷結菜さん

横浜町などの空き家を減らすために空き家の活用方法がもっと増えたらいいなと思いました。